

第1 基本方針

天草地域の農業は、海岸島しょの温暖な気候を活かして、早期水稻、かんきつ類、野菜、花きなどを組み合わせた複合経営が営まれている。

かんきつ類では、不知火系統（デコポン）、「河内晩柑」、ポンカンなどを主体とした中晩柑類が特産品として定着しているが、近年「不知火」のこはん症発生が問題となっており、その要因解明と発生軽減技術の開発が早急に求められている。また、温暖化の進展に伴い亜熱帯果樹の導入環境が整いつつあり、天草地域に適する新品目が期待されている。

このようなことから、天草地域の気象条件を最大限に活かし、高品質・低コストの売れる農産物づくりにより農業農村の持続的な発展を図るため、適応品目や品種の選定、生産安定、品質向上技術の確立に向けた試験研究に取り組む。

第2 重要研究事項

1 天草地域の魅力を発信できる新品種の選定

亜熱帯果樹として近年注目されているアボカドについて、天草地域に適した品種の選定と連年安定生産を目指し、植え付けから初着果までの管理技術を確立する。

2 天草特産カンキツの高品質果実生産技術の開発

天草特産果樹である「河内晩柑」、ポンカンの高品質果実安定生産のため、ヒリュウ台「河内晩柑」の着果管理技術やポンカンの摘果方法の改善を行う。

露地栽培不知火系統では、早急な解決が求められているこはん症発生軽減技術を確立する。また、「熊本E C 12」を始め、年内に出荷できるカンキツ類が、開発され、天草地域での栽培も期待されている。このようなことから、年内出荷できる有望品種について、天草での特性を把握し、栽培技術を確立する。

第3 試験研究課題一覧

【天草農業研究所】

部門	大課題	中課題	予算		小課題	試験期間
			金額	区分		
果樹	1. くまもとの魅力を発信できる新品種の開発・選定	新規 (1) アボカドの優良品種の選定および連年安定生産技術の開発	1,269	県単	① 天草地域に適した優良品種の選定 ② 定植方法及び初着果までの管理技術の確立	H31～H33 H31～H33
		(2) 天草特産果樹の品種選定と栽培技術の確立	429	県単	① カンキツ・ビワの生育状況・収量予測	H26～継続
	2. 稼げる農業を目指した革新的な生産技術の開発	(1) 天草地域特産カンキツの栽培技術の改善	1,122	県単	① ポンカンの栽培技術の改善 ② ヒリュウ台「河内晩柑」の生産安定技術の確立	H29～H31 H29～H31
		(2) 天草地域における年内出荷用カンキツの特性把握と高品質果実生産技術の確立	925	県単	① 年内出荷カンキツの品種特性の把握 ② 栽培方法の違いによる高品質果実生産技術の確立	H30～H32 H30～H32
		(3) カンキツ「不知火」等のこはん症軽減対策技術及び着花安定技術の確立 (暖地における果樹の安定生産技術及び温暖化緩和技術の開発) (再掲・抜粋)	300	外部資金	② こはん症発生軽減技術マニュアルの作成と現地実証 [天草農業研究所、果樹研究所]	H30～H31

注) **新規**：本年度から新たに取り組む課題

組替：課題設定時の内容を組み替えて設定する課題

延長：課題設定時の完了予定年度を延長して設定する課題

短縮：課題設定時の完了予定年度を短縮して設定する課題